

# 「知名中学校のふるさと学習の取組」

## 1 学校名

知名町立知名中学校

## 2 学年・人数

1 班（40人） 1 年 1 組（21人） 1 年 2 組（19人）

2 班（42人） 2 年 1 組（21人） 3 年 1 組（6人） 3 年 2 組（15人）

※ 大島地区中学総体に参加しない生徒のみ対象

## 3 日時・場所

令和3年6月11日（金）10:45～12:35・校区内風葬墓

## 4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

### (1) 名称

瀬利覚字の風葬墓（せりかくあざのふうそうぼ）（通称：ハカマタ）

### (2) 特徴

瀬利覚のハカマタは、主に近世期に使用された墓跡である。琉球石灰岩の岩盤及び岩陰を利用し、必要に応じて石積みでの区画や成形を加えている。当時の沖永良部島の墓制文化を知る上で大切な遺跡の一つである。

## 5 保存会や地域との連携の具体

これまで、6月の大島地区中学総体の時期には、総体に参加しない生徒を対象に、学校近くの海岸（ウジジ浜）清掃を通じた郷土学習（自然保護活動）を行ってきたが、近年、地域の方々による海岸清掃活動が定期的に実施されていることから環境がよくなってきている。

そこで、これまでの学習に代わる郷土教育素材について生涯学習課に相談したところ、学校近くの風葬墓を史跡巡りの場所として紹介していただくとともに町内老人会の方々を講師としても紹介していただくことになった。

更に、事前の打合せを進める中で、史跡巡りだけではなく、植物観察と竹細工の紹介もしていただくことになった。

## 6 取組の様子

10:45～11:35（3校時）

1 班（40人）瀬利覚の風葬墓と植物観察

講師 大山倭【芦清良】，新納忠人【瀬利覚】

宮城幸也【町教委生涯学習課文化財担当】

雨天時は、家庭科室で町内の史跡についての講話

2 班（42人）竹細工の紹介（家庭科室：雨天時は技術室）

講師 松村雪枝【上平川】，大山澄夫【久志検】

11:45～12:35（4校時）1・2班内容交代



【風葬墓見学へ出発】



【風葬墓見学・植物観察】



【竹細工についての説明】



【竹細工の紹介】

## 7 参加生徒・教師の感想

### 【3年生徒の感想】

瀬利覚の風葬墓について、学校のすぐ近くにこんな史跡があることを初めて知りました。

また、昔の風習だけでなく竹細工や方言についても教えていただきとてもためになりました。

### 【教師の感想】

社会科の教師なので、今回の見学はとても興味がありました。知名町には、他にも史跡があり、教えてくださる方々もいらっしゃるのので、授業や行事などにも積極的に取り入れ、郷土教育の充実につなげたいと思いました。